

件名	「墨田区保育所等整備計画」の見直しと墨田区の保育の質の向上に関する請願			
提出者住所氏名	墨田区墨田 よりよい保育を@すみだ E 外10,196人			
受理年月日	平成29年9月7日	受理番号	第1号	
紹介議員	はら つとむ			

#### 要旨

- 1 「墨田区保育所等整備計画」を全面的に見直し、公立保育園は公立保育園のまま存続させてください。
- 2 待機児童の解消は、認可保育所の増設で行ってください。
- 3 園庭や屋上など子どもが駆け回れる場所や日差しが当たる保育室を確保し、すべての子どもがよりよい環境の中で過ごせるようにしてください。
- 4 民間の保育施設で働く保育者の賃金を引き上げ、処遇を改善してください。

#### (理由)

一向に減らない待機児童、足りない認可保育所、保育士の劣悪な処遇と労働条件、園庭のない保育施設の増加などが社会問題として注目を集め、その改善が急がれています。

墨田区でも同様の問題があります。この間、区議会及び区の努力により認可保育所は増えていますが、平成28年4月に保育園を考える親の会が実施した調査によれば、認可保育所の入所を希望しても33.6%の子どもが入れていません。また、新たにつくられた保育園のほとんどに園庭がなく、主要な公園は園児であふれかえています。平成28年6月に区が実施した子ども・子育て支援ニーズ調査によれば、認可保育所に入れたい人は55.0%(認定こども園は5.8%)もあり、今後も認可保育所のニーズの高い状態が続くことが予想されます。

しかし、区は公立保育園を現在の22園から10園に縮小する「墨田区保育所等整備計画」を策定し、公立保育園を認定こども園に変えながら民営化・民間委託を進めています。

墨田区にある22の公立保育園は、区内に広く分布し、同一の基準で同質の保育を提供しています。そこが私立保育園との大きな違いです。公立保育園は数と質で区内の保育のスタンダードをつくっており、同時に区の保育への姿勢も示しています。

公立保育園がなくなることはスタンダードがなくなることを意味します。区がめざす保育の在り方も分からなくなり、私立保育園の基準も不安定になり、保育園ごとの格差の拡大や基準の低下などが危惧されます。

区には区民福祉の増進という責任があります。公立保育園は、区が区民の子ども

も・保護者の福祉に責任を持つ意志を示す場所です。公立保育園は区民のための施設であり、区民の財産です。それを守りつつ、私立保育園の環境を向上させ、保育士の処遇を改善させ、全体の保育の質を向上させていくことも区が果たすべき責任です。

以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。

以 上